

去年の4月～12月の間で購入した本の中から、おすすめの本を選びました。卒業前の一冊や、今年一冊目の本を選ぶ際の参考にして下さい。

1月 (睦月・初春月) January

〇メッセージ

寒かった年始が終わり、3学期が始まりました。卒業を控えている3年生の皆さんは、宮川高校での学校生活が残り少なくなってきました。1月は、宮川高校の図書館で本が読める最後の月なので、図書館で学校生活の思い出に残るような本をぜひ探してください。1・2年生の皆さんは今後もよろしくお祈りします。

〇連絡

3年生図書返却期限

1月20日(水曜日)です。

期限以降も本が必要な場合は図書館へ相談を。

〇1月の花言葉と誕生石

◇1月の花言葉◇

フクジュソウ:幸福を招く、スイセン:うぬぼれ・自己愛
ツバキ:気どらない優美

◇1月の誕生石◇

ガーネット:貞操、真実、友愛、真実

〇神様のカルテ/夏川草介著

長野県松本の本庄病院で激務に耐えながら働く栗原一止は、夏目漱石を尊敬し出会う人に次々と、あだ名をつける変わり者。本書は、本庄病院で働く同僚・患者や、結婚して1年目となる妻のハルさんと二人で暮らす「御岳荘」の住人とのやり取りを通じて進行していきます。ユーモアでありながら、患者の死と向き合う医療現場の苦悩についても考えるきっかけとなる本。(小学館 2009年)

〇武士道エイティーン/菅田哲也

武士道シリーズ三部作の最終巻が去年出ました。女子剣道部で剣道に打ち込む、磯山と甲本も、いよいよ最終学年である3年生に。二人の対決や高校卒業後の進路選択など、今後の答えを見つけ出す、読み応えのある最終巻となっています。今年の春に映画化することが決まっています。まだ読んだことのない人は1巻から挑戦してみてください。(文藝春秋 2009年)

〇神去なあな日常 三浦しをん

三重県関連の小説ということで、おすすめです。横浜の高校生3年生の平野勇気は、担任の先生の計らいで三重県神去村へ1年間林業の研修生として、派遣されることに。携帯電話が繋がらず、山に囲まれた神去村で、山仕事の達人のヨキの家に居候することになった勇気は、林業の仕事はハードで困難を極め…涙あり、笑いあり、恋ありの、賑やかで楽しい小説。(徳間書店 2009年)



<その他に、おすすめの本>

〇駆け込み本屋/清水克衛 サンガ 2009年
本屋さんの人生相談!

〇ダブル・ジョーカー/柳広司 角川書店 2009年
スパイ小説、ジョーカーゲームの続編。

〇夏が僕を抱く/豊島ミホ 祥伝社 2009年
幼なじみにまつわる短編集。

〇グ、ア、ム/本谷有希子 新潮社 2009年
ドタバタ家族がグアムへ旅行、時にシリアス。

〇アスリートの夢 26人のアスリート×きむ /日本ドリームプロジェクト編

26人のアスリートが、競技への思いや夢について語った本。様々な競技のアスリートが登場するので、知っている選手が沢山出てくるはず。巻頭には、詩人&写真家のきむさんがアスリートを連想して作った詩が収められています。真剣に競技に取り組む選手の姿を知られて、前向きになれる本です。(いろは出版 2009年)

〇NASAより宇宙に近い町工場/植松努

リサイクルの際に使用するパワーショベルの先につけるマグネットを作るかたわら、宇宙ロケットの開発を行なっている会社の社長である植松さんの講演会を元にして作られた本。誰も挑戦していない分野の隙間を見つけ、失敗することがあってもあきらめず工夫を重ね成功していく姿勢は、目の前の自分自身の課題を克服する際に役立つ考え方です。(ディスカヴァー 2009年)

〇世界で勝つための戦術論/西部謙司

今年は、南アフリカ共和国でワールドカップが開催される年です。大会が始まる前に、サッカーについて予習してみませんか!?

技術的なことは分かりにくくても、戦術的な視点は本書を読むと理解できます。よく「日本代表のFWは決定力不足である」と言われますが、その理由も書かれており、納得できました。本書を読むと、サッカーの試合の見え方が変わるのでは。(青春出版社 2009年)